

平成27年度決算審査特別委員会

2016/10
質疑

市政全般

未来に渡って持続可能な行政運営をしていくために、公正・公平で、合理的な政策の実現を目指して質疑を行ないました。

公共施設の長期的な管理のために基金の積立を

『公共施設等総合管理計画』で

は今後40年間で4700億円もの

費用が必要になる試算が出てお

り、長期的な視点で財源確保をし

なければなりません。ハコモノの

ような公共建築物はむやみに借金

をして整備を行うと、ただできえ

膨大な負担を背負わせている将来

世代への更なる負担になります。

また、公共建築物は各年度で必要

な費用が大きく変わるので、更新

費用の平準化を行う必要があります。

以上を踏まえると、公共施設

の更新ピークを迎える平成45年か

らの10年間に向けて、まだ余裕の

ある今の段階から公共施設等総合

管理計画にひもづく基金の積立を

始めるべきだと考えていました。実

際西宮市では毎年一定額以上を、

すべては、あしたの高齢のために。

市政報告2号
(市内全戸配布)



たけなかけん 1987年7月生まれ(29歳)
阿武山小学校・中学校／春日丘高校
立命館大学 法学部 卒業
会派「自民党・蒼政会議員団」所属

小学校の校庭開放を高槻でも実現するべきです。

私たちの子供の頃には

当たり前にすぐそこにあったような、

子供たちだけの主体的で自由な遊び場を確保することが、

今の大人的責任ではないでしょうか。

高槻市議会議員／無所属

竹中 健

改善するべきものであるため、手数料の見直しを要望しました。

本市のし尿収集手数料は、手数料の積算において昭和50年時点のデータを使っており、現状から乖離してしまっています。平成27年度のデータにあわせて計算し直すと、1ヶ月2242円程度を払つてもらうべきところ、現在は平均535円程度しかもらえていません。公共下水道の人口普及率は、平成27年度時点での96.6%まで広がつており、公共下水道につなげていないのは、自治体の責任ではなく、各家庭の判断がその理由です。また、公共下水道利用家庭の月平均利用料金は1885円なので、し尿収集家庭と1350円も乖離が出ており、市民の間で不公平が生じています。これらの現状は、市民感情からも、財政が厳しい自治体経営の視点からも必ず

なればなりません。ハコモノのような公共建築物はむやみに借金をして整備を行うと、ただできえ膨大な負担を背負わせている将来世代への更なる負担になります。また、公共建築物は各年度で必要な費用が大きく変わるので、更新費用の平準化を行う必要があります。以上を踏まえると、公共施設の更新ピークを迎える平成45年から10年間に向けて、まだ余裕のある今の段階から公共施設等総合管理計画にひもづく基金の積立を始めるべきだと考えていました。実際西宮市では毎年一定額以上を、

まず、敬老人浴事業は高齢者が毎月15日に特定の公衆浴場にて百円の支払いのみで入浴できるようになる事業です。しかし、この事業は市民全員が利用できるものではなく、高齢者のみに限定する合理性もないため、世代間で不公平が生じています。昔は浴室がない住居も多く、入浴の機会を確保することは必要でしたが、今では全国の95%以上の住居に浴室があるため、時代の変化にあわせて事業を見直すよう要望しました。

次に、ひとり暮らし高齢者家賃助成事業は、ひとり暮らし高齢者を見直すよう要望しました。助成事業は、ひとり暮らし高齢者をはじめ、ひとり暮らし高齢者であります。また、第2のセーフティネットという意味でも、生活が苦しいひとり暮らし高齢者であれば、最大月一万円の補助で大きく生活が助けられるとも思えませんので、むしろ生活保護の受給ができる適切な行政からのサポートになります。財政が厳しい中で、この市単独事業を今後も実施するのか、検討するよう要望しました。

● **人口動態に対する分析体制の確立**
人口増には他市との人口流入を目指すより、市内在住者の定住を促進するほうで効果的かつ効率的なので、市民意識の確立を要望。

● **市民向けプロモーションの推進**
高槻市は他市と比べてケーブルテレビの委託料が高いが、理由の一つは同じ番組を1日4回も放送しているためである。市民の視聴状況を調査し、その実態を把握した上で、超勤務時間の平準化のさらなる推進を要望。

● **ケーブルテレビの放送回数の見直し**
人口増には他市との人口流入により、市内の人口減少・少子高齢化に対する対策を検討するため、根本的な課題である人口動態に対する徹底した分析体制の確立を要望。

● **職員の超過勤務時間の平準化**
超過勤務時間は部署により大きな差があり、市内在住者の定住を促進するほうで効果的かつ効率的なので、市民意識の確立を要望。

● **ケーブルテレビの放送回数の見直し**
高槻市は他市と比べてケーブルテレビの委託料が高いが、理由の一つは同じ番組を1日4回も放送しているためである。市民の視聴状況を調査し、その実態を把握した上で、超勤務時間の平準化のさらなる推進を要望。

● **がん検診の受診率向上**
現在は、人口増を第一義として市内域での三世代定住に対して補助金を支給しているが、その分費用が増大している。さらなる受診率向上のためには、一度も受診をしたくない人や介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **三世代定住支援事業の検証と研究**
現在は、人口増を第一義として市内域での三世代定住に対して補助金を支給しているが、その分費用が増大している。さらなる受診率向上のためには、一度も受診をしたくない人や介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう目標指標の再設定を要望。

● **3学期制の再検証**
本市では平成19年から2学期制を導入しているが、全国では2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制による情報活用能力の育成が求められているため、体制の拡充を要望。

● **中学校の読書活動協力員の体制拡充**
中学校に配置している学校図書館支援員は勤務形態や研修体制が充実しているが、中学校の読書活動協力員は週2日のみで配置されているが、その分三世代定住による子育てや介護といつた福祉的な効果は弱まるなど、対象者の性質ごとに差がある。そのため、受診勧奨を行つよう目標指標の再設定を要望。

● **土曜学習「学びUP↑講座」**
より効果的な事業に改善していくために、実際の参加人数や参加生徒が何度参加しているかなど、事業の実情を把握するようになりたい。また、事業改善の判断をするために、事業効果を精緻に検証できるよう

